Panasonic®

取扱説明書

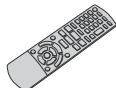
CD ステレオシステム

品番 SC-PM500

付属品をご確認ください

かっこ【　】内は、2011 年 6 月現在の品番です。

□ FM 簡易型アンテナ(1 本)
【RSAX0002】

□ AM ループアンテナ(1 本)
【N1DYYYY00010】

□ リモコン(1 コ)
【N2QAYB000684】

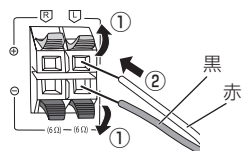
□ 電源コード(1 本)
【K2CA2CA00024】

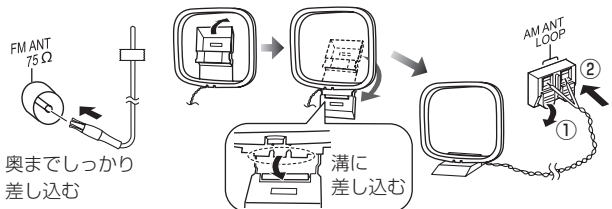
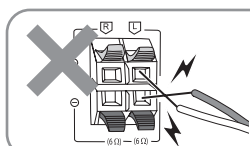
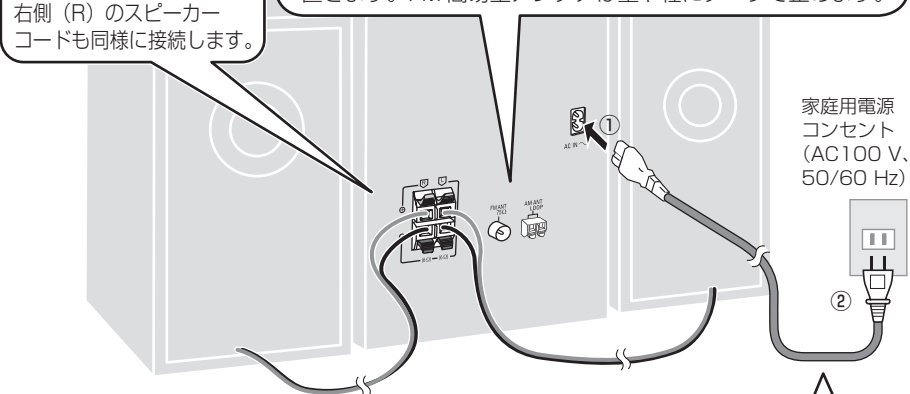
□ リモコン用乾電池
(単 3 形、1 本)

- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

もくじ

「安全上のご注意」を必ずお読みください
(➔ 17 ～ 19 ページ)

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」(➔ 17 ～ 19 ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

本機の接続

■ **電源コードを抜くときは**

① ［電源 ⏻/I］を押して電源を切る

② 「GOODBYE」の表示が消えてから電源コードを抜く

- 本機を移動するときは、CD の取り出し、iPod/iPhone や USB の取り外しを行ってから移動してください。（故障の原因になることがあります。）

スピーカーについて

- スピーカーは左右同じ形です。どちらに置いてもかまいません。
- 付属のスピーカー以外はご使用になれません。他のスピーカーを使用すると、故障の原因になるほか、低音が出ないなど、正しい特性の音が得られません。
- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。本機の近くに時計や磁気カード（クレジットカード）を置いたり、本機をテレビやパソコンの近くに置かないでください。
- 大きな音量で連続使用しないでください。スピーカー特性の劣化が起こったり、スピーカーの寿命が極端に短くなったりすることがあります。
- 通常の使用時でも音がひずんだときは、スピーカー破損の原因になることがありますので、音量を下げてご使用ください。

本機について

CD ステレオシステム（SC-PM500）

スピーカー（SB-PM500）　センターユニット（SA-PM500）

センターユニットとスピーカーは 1 cm 以上離してください。

- スピーカーネットは取り外しできます。

■ よりよい音響効果を得るために

音はスピーカーの置きかたによって変わります。例えば、床の上や部屋の隅に置くと低音が増します。下記を参考に、よりよい音質をお楽しみください。

- 平らで安定した場所に設置する
- 左右のスピーカー周囲の様子をできるだけ同じにする
- 左右は壁から離す
- 堅い壁やガラス窓には厚地のカーテンなどを掛けて反射を少なくする
- 左右のスピーカーの間隔を広げる
- 後ろの壁から 5 cm 以上離して設置する
- 鑑賞時の耳の位置と同じくらいの高さにスピーカーを設置する

CD について

■ 使用できる CD

●

このマークの付いた CD

● CD-DA フォーマットで記録された音楽用の CD-R/CD-RW（ファイナライズ※されたもの）

- 記録状態によっては再生できない場合があります。

※音楽用 CD-R/CD-RW 再生対応機器で再生できるように処理すること。

■ 使用できない CD

- ハート型など、特殊形状の CD（故障の原因になります。）

■ 使用を保証していない CD

- 違法にコピーしたディスクや規格外ディスク
- DualDisc（デュアルディスク：両面に音楽や映像などの情報が書き込まれたディスク）

■ 取り扱い上のお願い

CD そのものの破損や、機器の故障の原因ともなりますので、次のことをお守りください。

- 鉛筆などで字などを書かない
- レコードクリーナーやシンナー、ベンジン、アルコールでふかない
- 紙やシール、ラベルを貼らない
- 傷つき防止用のプロテクターなどを使わない
- シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出している CD は使わない
- 市販のラベルプリンターでディスク面に印刷した CD は使わない

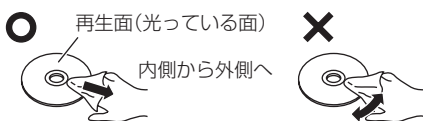
● **持ちかた**

再生面（光っている面）には触れない

● **汚れたときのお手入れ**

水を含ませた柔らかい布でふいてから、からぶきしてください。

再生面（光っている面）

内側から外側へ

● **露がついたら**

急に暖かい室内に持ち込んだときなど、露がついた場合は、柔らかい布でからぶきしてください。

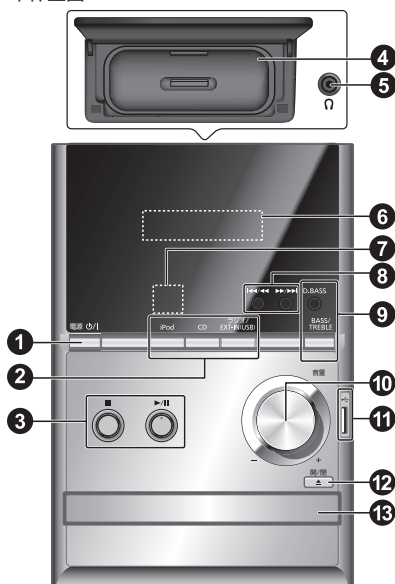
● **CD を良い音でお楽しみいただくために**

別売の専用クリーナーで時々清掃されることをおすすめします。

推奨品：CD レンズクリーナー
　　　　（品番 RP-CL510）

各部のはたらき

本体

本体上面

	なまえやはたらき	ページ
❶	［電源⏻/I］電源を入 / 切する	6
❷	［iPod］ セレクターを「IPOD」に切り換える	11
	［CD］セレクターを「CD」に切り換える	6
	［ラジオ /EXT-IN（USB）］ セレクターを「FM」「AM」「USB」に切り換える	7 ～ 9

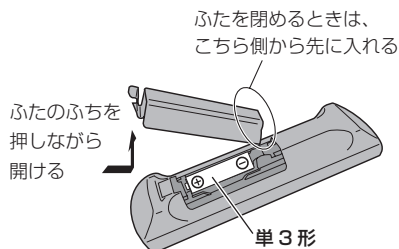
	なまえやはたらき	ページ
❸	［■］停止する	6, 7, 9, 11
	［▶/❚❚］再生 / 一時停止する	6, 7, 9, 11
❹	iPod/iPhone ドック部	10
❺	🎧（ヘッドホン）端子	13
❻	表示部	—
❼	リモコン受信部 • 受信範囲　正面…7 m 以内 左右…各 30° 距離と角度はおよその数値です。	—
❽	［⏮/⏪］［⏩/⏭］ スキップ / サーチする プリセットチャンネルを選ぶ バス / トレブルを調整する	6 ～ 8, 11, 13
❾	［D.BASS］D.BASS を入 / 切する	13
	［BASS/TREBLE］ バス / トレブルを選ぶ	13
❿	［音量 ＋ −］音量を調節する • 0（最小）～ 50（最大）	—
⓫	USB 端子	—
⓬	［開 / 閉 ▲］CD トレイを開 / 閉する	6
⓭	CD トレイ部	—

リモコンの準備

■ 乾電池の入れかた

ふたを閉めるときは、
こちら側から先に入れる

ふたのふちを
押しながら
開ける

単３形

- ⊕⊖ を確認してください。
- 電池はマンガンまたはアルカリ乾電池をお使いください。

■ 使用上のお願い

- 受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。
- 受信部と送信部のほこりに注意してください。

■ 本体をラックに入れて使用するとき

ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの動作距離が短くなることがあります。

お知らせ

- リモコンの電池を交換すると、リモコンモードが 1 になることがあります。（➡ 16 ページ）

リモコン

- 本書では、リモコンでの操作を中心に説明しています。

	なまえやはたらき		ページ
①	[電源]	電源を入 / 切する	6
②	[数字ボタン]	番号を選ぶ	6 ~ 9, 11, 12
③	[消去]	プログラム曲を消去する	7
④	[iPod]	セレクターを「IPOD」に切り換える	11
	[CD]	セレクターを「CD」に切り換える	6
	[ラジオ EXT-IN]	セレクターを「FM」「AM」「USB」に切り換える	7 ~ 9

	なまえやはたらき		ページ
⑤	[⏮] [⏭]	スキップする プリセットチャンネルを選ぶ	6 ~ 9, 11
	[▶/⏸]	再生 / 一時停止する	6, 7, 9, 11
	[⏪] [⏩]	サーチする 周波数を選ぶ	6, 8, 11
	[■]	停止する	6, 7, 9, 11
⑥	[D.BASS]	D.BASS を入 / 切する	13
	[サウンド]	音質・音場メニューに入る	13
	[プリセット EQ]	EQ(イコライザー)を設定する	13
⑦	[iPod MENU]	iPod の選曲メニュー画面に入る	11
⑧	[表示切換 − ディマー]	表示を切り換える	6, 9
		表示部の明るさを変える • [− ディマー] を押したままにする 上記操作をするたびに : 暗い ⇄ 明るい	—
⑨	[スリープ]	おやすみタイマーを設定する	11
	[再生 ◴]	おめざめタイマーを入 / 切する	12
	[時計 / タイマー]	時計 / おめざめタイマーを設定する	11, 12
⑩	[プログラム]	プログラムプレイを入 / 切する	7, 9
⑪	[+ 音量 −]	音量を調節する • 0(最小)~ 50(最大)	—
⑫	[消音]	一時的に消音する • 解除するには、もう一度押す/音量を調節する/電源を切 / 入する	—
⑬	[再生 メニュー]	再生メニュー画面に入る	6
⑭	[ラジオ メニュー]	ラジオメニュー画面に入る	7, 8
⑮	[▲] [▼] [◀] [▶] [決定]	メニューや設定画面で選んで決定する	9
		アルバムを選ぶ	—
⑯	[オートオフ]	オートオフ機能を入 / 切する	13

CD を聴く

❶ [電源] を押して電源を入れる

● 本体では [電源 ⏻/I] を押します。

❷ 本体の [開 / 閉 ▲] を押して CD トレイを開き、CD を入れる

ラベル面を上に、CD トレイの中央に正しく置く。

● CD トレイを閉めるにはもう一度 [開 / 閉 ▲] を押します。

❸ [CD] を押してセレクターを「CD」に切り換える

❹ [▶/❚❚] を押す（再生開始）

停止する	[■] を押す
一時停止する	[▶/❚❚] を押す • 再開するにはもう一度押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	再生中 / 一時停止中に、[◀◀] [▶▶]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押したままにする
好きな曲から聴く（ダイレクトプレイ）	数字ボタンを押す • 2 桁の数字を選ぶには [≧10] を押してから数字ボタンを押す（例：「12」は [≧10] → [1] → [2]）
再生残り時間などを見る	再生中 / 一時停止中に、[表示切換] を押す 押すたびに： 「CD」＋再生経過時間 → トラック番号＋再生経過時間 → トラック番号＋再生残り時間 → 「CD」＋再生経過時間
再生範囲を変える / 順不同で聴く（再生モード）	① [再生メニュー] を数回押して「PLAYMODE」を選ぶ ② [◀] [▶] を押して再生モードを選び、[決定] を押す OFF PLAYMODE：通常の再生 1-TRACK：1 曲を再生（“1TR” が点灯します。） RANDOM：ランダムプレイ（“RND” が点灯します。）
くり返し聴く（リピートプレイ）	• リピートプレイは、他の再生方法と組み合わせることができます。 ① [再生メニュー] を数回押して「REPEAT」を選ぶ ② [◀] [▶] を押して「ON REPEAT」を選び、[決定] を押す（“🔁” が表示されます。） • 解除するには手順②で「OFF REPEAT」を選び、[決定] を押す（“🔁” が消えます。）

お知らせ

- WMA/MP3 音楽は再生できません。
- ランダム / プログラムプレイ（➔ 7 ページ）の設定中は、ダイレクトプレイできません。
- CD トレイを開けると、再生モードは解除されます。
- ランダムプレイ中は、一度再生した曲へスキップできません。

曲を選んで聴く（プログラムプレイ）

好みの曲を好きな順に、最大 24 曲までプログラムできます。

①停止中に、［プログラム］を押す
（“PGM”が点灯します。）

②数字ボタンを押して曲を選ぶ
（続けて選ぶときはこの操作をくり返します。）

③［▶/❚❚］を押す

停止する	再生中に、［■］を押す （プログラム内容は保持）
内容を確認する	プログラムプレイの停止中に、［⏮］［⏭］（本体では［⏮/◀◀］［▶▶/⏭］）を押す
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に、手順 ② を行う
通常の再生に戻す	プログラムプレイの停止中に、［プログラム］を押して“PGM”を消す （プログラム内容は保持） • プログラムプレイに戻るには停止中に、［プログラム］→［▶/❚❚］を押す
最後の 1 曲を取り消す	プログラムプレイの停止中に、［消去］を押す • プログラム曲を選んで取り消すことはできません。
プログラムをすべて取り消す	①プログラムプレイの停止中に、［■］を押す ②「CLR ALL」の点滅中に、［■］を押す

お知らせ

• 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
• CD トレイを開けると、プログラム内容は取り消されます。
• プログラムの合計再生時間は表示されません。

ラジオを聴く

FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続しておいてください。（➔ 2 ページ）

放送局を記憶させて聴く

FM/AM 各 15 局まで記憶させることができます。

自動で記憶させる（オートプリセットメモリー）

❶［ラジオ EXT-IN］を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える

● 本体では［ラジオ /EXT-IN（USB)］を押します。

❷［ラジオメニュー］を数回押して「A.PRESET」を選び、［決定］を押す

❸「START?」が表示されるので、［決定］を押す

周波数が動いて、放送局を自動で記憶していきます。

■ 記憶させる開始周波数を変えるには：

①ラジオ受信中に、［決定］を数回押して「CURRENT」（受信中の周波数から）または「LOWEST」（一番低い周波数から）を選ぶ

②［ラジオメニュー］を数回押して「A.PRESET」を選び、［決定］を押す

③［決定］を押す

ラジオを聴く（つづき）

手動で記憶させる（マニュアルメモリー）

1 **［ラジオ EXT-IN］を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える**

● 本体では［ラジオ /EXT-IN(USB)］を押します。

2 **［◀◀］［▶▶］を押して記憶させたい周波数に合わせる**

3 **［プログラム］を押す**

4 **“PGM”の点滅中に、数字ボタンを押してチャンネルを選ぶ**

● 2 桁の数字を選ぶには、［≧10］を押してから数字ボタンを押します。（例:「12」は［≧10］→［1］→［2］）

お知らせ

- マニュアルメモリーは、オートプリセットメモリーで記憶させたチャンネルに上書きできます。また、FM のモノラル受信（➡ 右記）でも記憶させることができます。

記憶させた放送局を聴く（プリセットチューニング）

1 **［ラジオ EXT-IN］を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える**

● 本体では［ラジオ /EXT-IN(USB)］を押します。

2 **［|◀◀］［▶▶|］を押してチャンネルを選ぶ**

● 本体では［|◀◀/◀◀］［▶▶/▶▶|］を押します。
● 数字ボタンでもチャンネルを選べます。

周波数を合わせて聴く（マニュアルチューニング）

1 **［ラジオ EXT-IN］を数回押してセレクターを「FM」または「AM」に切り換える**

● 本体では［ラジオ /EXT-IN(USB)］を押します。

2 **［◀◀］［▶▶］を押して周波数を合わせる**

■ 自動選局するには：
周波数が動き始めるまで［◀◀］［▶▶］を押したままにする

- 自動選局中、周囲に妨害電波があると、放送を受信せずに周波数が止まることがあります。

■ FM ステレオ放送で雑音が多いときは（FM モノラル受信）：

①FM 受信中に、［ラジオメニュー］を数回押して「FM MODE」を選び、［決定］を押す
②［◀］［▶］を押して「MONO」を選び、［決定］を押す（“MONO”が点灯します。）

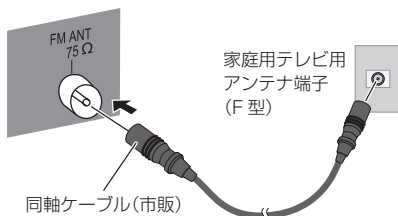
- 周波数を変えると、自動的にステレオ放送に戻ります。
- ステレオに戻すときは、手順②で「STEREO」を選び、［決定］を押します。

■ AM 放送で雑音が多いときは（BP：ビートプルーフ機能）：

①AM 受信中に、［ラジオメニュー］を数回押して「B.PROOF」を選び、［決定］を押す
②［◀］［▶］を押して「BP 1」または「BP 2」のうち、雑音の少ないものを選び、［決定］を押す

■ FM がうまく受信できないときは（テレビアンテナ端子の利用）：

山間部や鉄筋ビルの中など、電波の弱いところやノイズが入るときには、屋外アンテナなどの設置をおすすめします。

①付属の FM 簡易型アンテナを取り外す
②同軸ケーブルで、本機の FM アンテナ端子とテレビ用アンテナ端子（F 型）を接続する

- 上記アンテナ端子が地上デジタル放送専用の場合は効果がないことがあります。
- 上記の接続をしてもうまく受信できない場合、FM 専用アンテナ（市販）やブースター（増幅器、市販）の使用が必要になることがあります。詳しくは販売店にご相談ください。

お知らせ

- FM ステレオ放送で雑音が多いときは、サラウンド効果（➡ 13 ページ）を切にすることでも改善できます。

USB を聴く

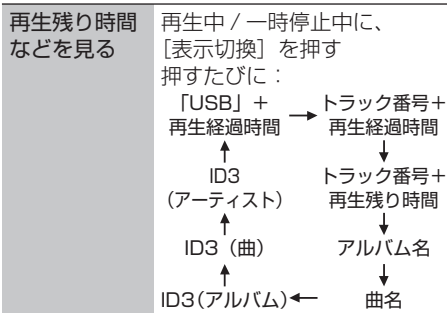
USB デバイスなどを本機に接続して、MP3 音楽（拡張子が「.mp3」や「.MP3」のファイル）を再生することができます。
- 本機では 32 GB までの容量の USB に対応しています。
- 本機では USB への録音はできません。

①パソコンなどから USB デバイスに MP3 の音楽ファイルを入れておく
②本機の音量を下げておく
③USB デバイスを本機の USB 端子（➜ 4 ページ）に接続しておく

1 ［ラジオ EXT-IN］を数回押してセレクターを「USB」に切り換える

● 本体では［ラジオ /EXT-IN（USB）］を押します。

2 ［▶/❚❚］を押す（再生開始）

停止する	［■］を押す （「RESUME」が表示され、停止した位置を記憶） • 再開するには［▶/❚❚］を押す • 最初から再生するにはもう一度［■］を押してから［▶/❚❚］を押す
アルバムを選ぶ（アルバムスキップ）	［▲］［▼］を押す • 停止中は、［▲］［▼］を押してから、数字ボタンを押すことでも選べます。
好きな曲から聴く（ダイレクトプレイ）	数字ボタンを押す • 2 桁の数字を選ぶには［≧10］を押してから数字ボタンを押す （例：「12」は［≧10］→［1］→［2］） • 3 桁の数字を選ぶには［≧10］を 2 回押してから数字ボタンを押す （例：「124」は［≧10］→［≧10］→［1］→［2］→［4］）
再生残り時間などを見る	再生中 / 一時停止中に、［表示切換］を押す 押すたびに： 「USB」＋再生経過時間 → トラック番号＋再生経過時間 → トラック番号＋再生残り時間 → アルバム名 → 曲名 → ID3（アルバム）→ ID3（曲）→ ID3（アーティスト）→「USB」＋再生経過時間

● 一時停止、スキップ、再生モード、リピートプレイの設定は CD と同様の操作でできます。（➜ 6 ページ）

お知らせ

- 接続する機器によっては正しく動作しない場合があります。
- USB 延長ケーブルは使用しないでください。本機では正しく動作しません。
- 本機の USB 端子には、iPod/iPhone を接続できません。iPod/iPhone は、上面のコネクター部に接続してください。（➜ 10 ページ）
- 曲名などは、英数字のみ正しく表示されます。

曲を選んで聴く（プログラムプレイ）

好みの曲を好きな順に、最大 24 曲までプログラムできます。

①停止中に、［プログラム］を押す
（“PGM”が点灯します。）
②［▲］［▼］を押してアルバムを選ぶ
③［▶▶|］を押してから数字ボタンを押して曲を選び、［決定］を押す
（続けて選ぶときは手順 ② と ③ の操作をくり返します。）
④［▶/❚❚］を押す

停止する	再生中に、［■］を 2 回押す（プログラム内容は保持）
曲を追加する	プログラムプレイの停止中に、手順 ② と ③ を行う

● その他のプログラムプレイの操作は CD と同様の操作でできます。（➜ 7 ページ）

お知らせ

- 電源を切ったり、セレクターを切り換えてもプログラム内容は保持されます。
- USB デバイスを取り外すと、プログラム内容は取り消されます。
- プログラムの合計再生時間は表示されません。

iPod/iPhone の音楽を聴く

対応している iPod/iPhone を接続すると、iPod/iPhone の再生、充電ができます。
- iPod/iPhone に付属されている説明書などもお読みください。

iPod/iPhone のデータ管理について、当社では一切の保証はしていません。

■ 本機で使用できる iPod/iPhone（2011 年 6 月現在）

名前	容量
iPod touch 第 4 世代	8 GB, 32 GB, 64 GB
iPod nano 第 6 世代	8 GB, 16 GB
iPod touch 第 3 世代	32 GB, 64 GB
iPod nano 第 5 世代（ビデオカメラ）	8 GB, 16 GB
iPod touch 第 2 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod classic	120 GB, 160 GB (2009)
iPod nano 第 4 世代（ビデオ）	8 GB, 16 GB
iPod classic	160 GB (2007)
iPod touch 第 1 世代	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPod nano 第 3 世代（ビデオ）	4 GB, 8 GB
iPod classic	80 GB
iPod nano 第 2 世代（アルミニウム）	2 GB, 4 GB, 8 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	60 GB, 80 GB
iPod 第 5 世代（ビデオ）	30 GB
iPod nano 第 1 世代	1 GB, 2 GB, 4 GB

名前	容量
iPhone 4	16 GB, 32 GB
iPhone 3GS	8 GB, 16 GB, 32 GB
iPhone 3G	8 GB, 16 GB

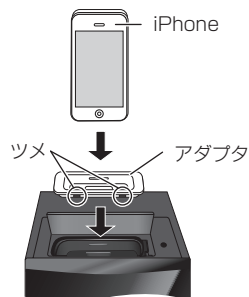
- ご使用の iPod/iPhone またはそのバージョンにより、通常と異なる動作や表示などを行う場合がありますので、最新のバージョンをご使用ください。
- 詳しくは、下記サポートページで確認してください。
http://panasonic.jp/support/audio/connect/

iPod/iPhone を本機に接続する

iPod/iPhone ケースなどを付けている場合は取り外してください。

❶ iPod/iPhone ふたを開ける

❷ iPod/iPhone 専用のアダプタを取り付け、iPod/iPhone を接続する

例：

- 正しく接続するために、iPod/iPhone 専用のアダプタは必ず取り付けてください。アダプタを取り付けないと、コネクター部の破損の原因となります。
- iPod/iPhone にアダプタが付属されていない場合は、Apple 社からお買い求めください。

iPod/iPhone を接続すると、自動的に充電が始まります。（充電が完了したかどうかは、iPod/iPhone の画面で確認できます。）

お願い

- 接続した iPod/iPhone は、無理に力を入れて動かさないでください。
- 充電完了後、iPod/iPhone を長期間使用しないときは、本機から外しておいてください。充電後の自然放電により電池が消耗しても追加充電はされません。

タイマーを使う

iPod/iPhone の音楽を本機で聴く

❶ [iPod] を押してセレクターを「IPOD」に切り換える

❷ [▶/II] を押す（再生開始）

● [▶/II] は短く押してください。長く押すと再生できない場合があります。

■ 本機のリモコンでの操作※

一時停止する	[▶/II] または [■] を押す • 再開するには [▶/II] を押す
曲を飛ばす（スキップ）	[⏮] [⏭]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を押す
早送り / 早戻しする（サーチ）	[◀◀] [▶▶]（本体では [⏮/◀◀] [▶▶/⏭]）を聴きたい位置まで押したままにする
選曲メニュー画面に入る	[iPod MENU] を押す • 選んで決定するには [▲] [▼] を押して選び、[決定] を押す • 一つ前の画面に戻るときは [iPod MENU] を押す

お知らせ

※iPod/iPhone の機種によっては、操作が効かない場合があります。

• 動作の表示はiPod/iPhoneの画面で確認できます。
• 一部の機種では、アルバムやアーティストを選曲し直す場合に、本機から取り外して iPod 側で操作することが必要になります。

時計を合わせる

本機の時計は 24 時間表示です。

❶ [時計 / タイマー] を押して「CLOCK」を選ぶ

押すたびに：

CLOCK → ◴PLAY 1 → ◴PLAY 2 → ◴PLAY 3 → (元の画面) → CLOCK

❷ 時計画面の表示中に、[▲] [▼] を押して時計を合わせる

● 時刻は数字ボタンでも入力できます。
例：16 時 5 分
[1] → [6] → [0] → [5] を押す
（間違えた場合は、[消去] を押す）

❸ [決定] を押して時刻を決定する

■ 時計を確認するには：
[時計 / タイマー] を押す

お願い

• コンセントを抜いたり、停電したときは、時計を合わせ直してください。

お知らせ

• 時計の精度には若干の誤差があります。定期的な時刻補正をおすすめします。

おやすみタイマーを使う

指定した時間が経過すると、自動的に電源が切れます。

[スリープ] を押して おやすみタイマーの時間を選ぶ

押すたびに：

30MIN → 60MIN → 90MIN → 120MIN → OFF → 30MIN

“SLEEP” が点灯します。

■ 解除するには：
[スリープ] を数回押して「OFF」を選ぶ

■ 残り時間を確かめるには：
[スリープ] を押す
• 数回押すと設定を変えることができます。

タイマーを使う（つづき）

おめざめタイマーを使う

3 種類の動作時刻を設定して、使い分けることができます。
音源が「CD」や「USB」のときは、再生モードやプログラム設定をしておくことが可能です。

- 時計を合わせておく（➔ 11 ページ）
- 再生する音源（CD、USB、ラジオ、iPod/iPhone）を準備し、セレクターと音量を合わせておく

動作時刻を設定する

1 ［時計 / タイマー］を押して タイマー（◴ PLAY 1 ～ 3）を選ぶ

押すたびに：

CLOCK → ◴PLAY 1 → ◴PLAY 2 → ◴PLAY 3 → (元の画面) → CLOCK

● どの番号を選んでもかまいません。

2 設定画面の表示中に、［▲］［▼］を押して開始時刻を設定する

● 時刻は数字ボタンでも入力できます。

3 ［決定］を押す

4 手順 2 と 3 をくり返して終了時刻を設定する

● 開始時刻から終了時刻までの時間が 1 分以上になるように設定してください。

タイマーを動作させる

5 ［再生 ◴］を数回押して 動作させたいタイマー（◴ PLAY 1 ～ 3）を選ぶ

6 電源を切る

● 電源を切らないと、タイマーは動作しません。

設定した時刻になると、設定した音量までフェードイン（徐々に大きく）して再生します。（動作中は “◴PLAY ” が点滅します。）
終了時刻になると、電源が切れます。

■ 設定したタイマーを確認するには：
［時計 / タイマー］を数回押す

■ タイマーを無効にするには：
［再生◴］を数回押して “◴PLAY ” を消す

■ タイマー設定の音源や音量を変えるには：
タイマーを無効にしてから音源と音量を変え、手順 5 と 6 を行う

お知らせ

- タイマーは無効にしない限り、設定した時刻に動作します。
- おやすみタイマーとおめざめタイマーは組み合わせて使えますが、おやすみタイマーが優先されます。

音質・音場効果を楽しむ

低域 / 高域を調整する

1 [サウンド]を数回押して「BASS」(低域)または「TREBLE」(高域)を選ぶ

2 音質・音場メニュー画面の表示中に、[◀] [▶]を押してレベルを調整する

- 各レベルは－４から＋４まで調整できます。

■ 本体のボタンで調整するには：
①[BASS/TREBLE]を数回押して「BASS」または「TREBLE」を選ぶ
②音質・音場メニュー画面の表示中に、[⏮/◀◀] [▶▶/⏭]を押してレベルを調整する

サラウンド効果を楽しむ

1 [サウンド]を数回押して「SURROUND」を選ぶ

2 音質・音場メニュー画面の表示中に、[◀] [▶]を押して「ON SURROUND」を選ぶ

"▮▮▮▬▮▮▮"が点灯します。

■ 解除するには：
手順 2 で「OFF SURROUND」を選ぶ

好みの音質を楽しむ (EQ：イコライザー)

[プリセット EQ]を数回押して好みの音質を選ぶ

HEAVY	ロックなど、パンチを効かせるとき(お買い上げ時の設定)
SOFT	BGM として聴くとき
CLEAR	ジャズなど、高音部を鮮明にするとき
VOCAL	ボーカルにつやを出したいとき
FLAT	音質効果を使わないとき

「FLAT」以外に設定すると、"EQ"が点灯します。

豊かな低音で聴く

低い周波数の重低音を大きくします。

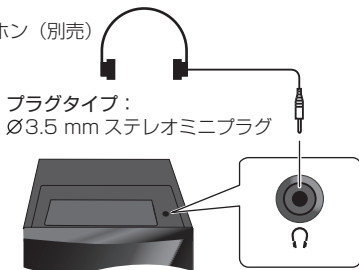
[D.BASS]を数回押して「ON D.BASS」を選ぶ

"D.BASS"が点灯します。

- 再生する音源によっては効果の少ないものもあります。

■ 解除するには：
[D.BASS]を数回押して「OFF D.BASS」を選ぶ

便利な機能

ヘッドホンで聴く

お願い

- ヘッドホンを接続するときは、音量を下げてください。また、耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

電源の切り忘れを防ぐ (オートオフ)

次のすべての状態で、ボタン操作のない状態が約 30 分以上続くと、自動的に電源が切れます。

- CD や USB の停止中 / 一時停止中
- iPod/iPhone が無音に近い状態

[オートオフ]を押して"A.OFF"を点灯させる

■ 解除するには：
[オートオフ]を押して"A.OFF"を消す

お知らせ

- オートオフ機能は解除しない限り、電源を切 / 入しても働きます。

Q＆A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）	ページ
他のスピーカーをつなぎたい	付属のスピーカー以外はご使用になれません。 本機は、本体と付属スピーカーの組み合わせにより正しい特性の音が得られます。他のスピーカーを使用すると、故障の原因となるほか、正しい特性の音が得られません。	—
長期間使用しないのだが、どうすれば？	節電のために電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いておくことをおすすめします。ただし、再使用時には、時計の設定が必要です。	—
USB の対応容量は？	本機は 32 GB までの USB デバイスに対応しています（再生のみ）。	—
USB の WMA ファイルは再生できる？	WMA は再生できません。本機では、MP3（拡張子が「.mp3」「.MP3」のファイル）のみ再生できます。	9
再生時の音質を変えたい	イコライザーの設定を変えてみるのも一つの方法です。	13

こんな表示が出たら

表示	意味	処理
ADJUST CLOCK	タイマーを動作させるには時計設定が必要です。	時計を合わせてください。（➜ 11 ページ）
ADJUST TIMER	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定していません。	タイマーの開始時刻と終了時刻を設定してください。（➜ 12 ページ）
AUTO OFF	オートオフ機能が働いているので、1 分以内に自動的に電源が切れます。（➜ 13 ページ）	解除するには、いずれかのボタンを押してください。
ERROR	誤った操作をしています。	再度操作をやり直してください。
F61 F76	異常が発生しました。（本システムは異常を検出すると、保護回路が働いて、電源を自動的に切ります。）	著しい大音量で聴いていませんか。また、異常に暑い場所で使用していませんか。しばらく待ってから再び電源を入れてください。（保護回路の動作が解除されます。）それでも同じ現象が起こる場合は、電源を切り、電源プラグを抜いたうえで、販売店にご相談ください。
NODEVICE	USB デバイスや iPod/iPhone が接続されていません。	USB デバイスや iPod/iPhone をきちんと接続してください。（➜ 9、10 ページ）
NO DISC	CD が入っていません。または、曲の入っていない CD-R などを入れました。	再生できる CD を入れてください。
NO PLAY	再生できない曲です。	（その曲をスキップして再生します。）
	再生できないディスクです。	再生できるディスク（➜ 3、6 ページ）に取り換えてください。
	USB 内のファイルが再生できないフォーマットです。	「.mp3」や「.MP3」の拡張子のあるものを再生してください。
NOT SUPPORTED	対応していない iPod/iPhone です。	iPod/iPhone が対応している機種かどうか、確認してください。（➜ 10 ページ）
PGM FULL	プログラム曲数が 24 曲を超えようとしています。	（これ以上のプログラムはできません。）
READING	情報を読み込んでいます。	「READING」が消えてから操作してください。
U30 REM1 U30 REM2	リモコンモードの設定が本体と合っていません。	リモコン側のリモコンモードを切り換えてください。（➜ 16 ページ）

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

長時間使用すると、本体が熱を持ちますが、使用には差しつかえありません。

こんなときは		ここをご確認ください	ページ
システム全体	電源が入っているのに何の操作も受け付けなくなった	次の操作をして、本機を購入時の設定に戻してください。 ① 一度電源コードを抜き、3 分ほどそのままにしておく。 ② 本体の［電源 ⏻/I］を押しながら電源コードを接続する。 ③ 表示部に「――――――――」が表示されるまで本体の［電源 ⏻/I］を押したままにする。	—
	音が出ない	スピーカーコードを正しく接続してください。	2
	再生中に「ブーン」という音がする	接続コードの近くに電源コードや蛍光灯がありませんか。 電気器具を本機からできるだけ離してください。	—
		電源コードを逆に差しかえてみてください。	—
CD	• CD を入れても、表示部が変わらない • 再生ボタンを押しても再生が始まらない	規格外の CD を使用していませんか。	3
		寒いところから急に暖かいところに持ってきたなど、急激な温度差で、レンズ部に「つゆつき」が生じることがあります。 故障の原因になりますので､「つゆつき」が起こりそうなときは、部屋の温度になじむまで（約 2 ～ 3 時間)、電源を切ったまま放置してください。	—
	特定の箇所が正常に再生しない	CD を柔らかい布でふいてください。	3
	CD トレイが正しく閉まらない	ディスクが正しい位置にあるかどうか確認してください。	6
ラジオ	• うまく受信できない • 雑音、ひずみが多い	FM 簡易型アンテナや AM ループアンテナを接続してください。	2
		アンテナの設置場所や向きを変えてみてください。	—
		アンテナ線と電源コードをできるだけ離してください。	—
		送信所が遠かったり、近くに大きなビルや山がある場合は、屋外アンテナを利用してみてください。	8
		テレビ、ビデオデッキ、パソコン、BS チューナーなどの電源が入っていませんか。また、近くで携帯電話の充電をしていませんか。 各機器の電源を切る、または本機と各機器との距離を離してください。	—
iPod/iPhone	iPod/iPhone を接続しても、認識されない	iPod/iPhone が対応している機種かどうか､確認してください。	10
USB	USB デバイスを接続しても、認識されない	ご使用の USB デバイスが他の機器で認識できるかどうか、確認してください。	—
	再生ボタンを押しても再生が始まらない	本機では、「.mp3」や「.MP3」の拡張子のあるもののみ再生できます。また、容量が 32 GB を超える USB デバイスの動作は保証していません。	9
	操作に時間がかかる	容量の大きい USB デバイスの場合、操作に時間がかかることがあります。	—

故障かな !?（つづき）

こんなときは		ここをご確認ください	ページ
リモコン	リモコン操作ができない	乾電池の ⊕ ⊖ を正しく入れてください。	4
		新しい乾電池と交換してください。	4
		リモコン側のリモコンモードを本体と合わせてください。	下記
	• 本機のリモコン操作で他の機器が誤動作する • 他の機器のリモコンで本機が誤動作する	他の機器が干渉しないように、リモコンモードを変更してください。 本体側の切り換え ① 本体の［CD］を押したまま、リモコンの［2］（または［1］）を 2 秒以上押したままにする。（「REMOTE 2」（または「REMOTE 1」）が表示されます。） リモコン側の切り換え ② リモコンの［決定］と［2］（または［1］）を 4 秒以上押したままにする。	—

安全上のご注意（必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

⚠ 警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 電源プラグが異常に熱い
- 本体に変形や破損した部分がある

そのまま使うと火災・感電の原因になります。

● 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。

電池は誤った使いかたをしない

- 指定以外の電池を使わない
- 乾電池は充電しない
- 加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない
- ⊕と⊖を針金などで接続しない
- 金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない
- ⊕と⊖を逆に入れない
- 被覆のはがれた電池は使わない

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

● 電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

電源コード・プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど）

傷んだまま使用すると、火災・感電・ショートの原因になります。

● コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

● 機器の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

● 特にお子様にはご注意ください。

安全上のご注意（つづき）

⚠ 警告

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと､医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない

感電の原因になります。

雷が鳴ったら、本機や電源プラグ、アンテナ線に触れない

感電の原因になります。

電源プラグのほこり等は定期的にとる

プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠ 注意

CD トレイに指をはさまれないように注意する

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。
- 特にお子様にはご注意ください。

コードを接続した状態で移動しない

接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。
また、引っかかって、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

本機の上に重い物を載せたり、乗ったりしない

倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。
また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

放熱を妨げない

内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。
- 背面の通気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなりますのでご注意ください。

異常に温度が高くなるところに置かない

温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。
- 直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない

電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない

強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。
- 設置・工事は販売店にご相談ください。

ヘッドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。
- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

長期間使わないときは、リモコンから電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

スピーカーは付属のものを接続する

付属以外のスピーカーを接続すると、スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

長期間使わないときや、お手入れのときは、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。
- ディスク、USB デバイスや iPod/iPhone は、保護のため取り出し、または取り外しておいてください。

お手入れ

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

—このマークがある場合は—

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報

このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。
製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

Made for iPod iPhone

「Made for iPod」「Made for iPhone」とは、それぞれ iPod, iPhone 専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

MPEG Layer-3 オーディオコーディング技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。

- 本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では TM、® マークは一部記載していません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。

音のエチケット
シンボルマーク

CLUB Panasonic
Pana Sense

付属品（➜ 表紙）は販売店でお買い求めいただけます。
パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。
http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm/

仕様

センターユニット部（SA-PM500）

アンプ部

実用最大出力 (両 CH 動作) (JEITA)	40 W (20 W + 20 W) 6 Ω、1 kHz、 全高調波ひずみ率 10 %
入出力端子	USB 端子：USB 2.0 full speed HP 端子：ステレオミニ (ø 3.5 mm) iPod/iPhone 端子：iPod/ iPhone 専用端子

FM チューナー部

受信周波数帯域	76.0 ～ 90.0 MHz （100 kHz ステップ）
アンテナ端子	75 Ω（不平衡型）
プリセットメモリー登録数	15 局

AM チューナー部

受信周波数帯域	522 ～ 1629 kHz （9 kHz ステップ）
プリセットメモリー登録数	15 局

CD 部

再生可能ディスク	8 cm/12 cm CD、CD-R、CD-RW
再生可能フォーマット	CD-DA
サンプリング周波数	44.1 kHz
量子化	16 ビット直線
光源	半導体レーザー
波長	790 nm
レーザーパワー	CLASS Ⅰ
チャンネル数	2 チャンネル（ステレオ）

USB 部（再生のみ）

USB インターフェース	USB 2.0 full speed （USB1.1 互換）
対応デバイス	マスストレージクラス
給電電流	最大 500 mA
ファイルフォーマット	FAT12/16/32
対応 USB メモリ容量	最大 32 GB
再生フォーマット	MP3（拡張子：「.mp3」または「.MP3」）
ビットレート	32 kbps ～ 320 kbps
最大フォルダ数 （アルバム数）	255
最大ファイル数（曲数）	2500（1 アルバムあたり 999）

本体総合

電源	AC100 V、50/60 Hz
消費電力	28 W
寸法（幅×高さ×奥行）	153 mm × 224 mm × 232 mm
質量	約 1.7 kg
許容周囲温度	0℃～＋ 40℃
許容相対湿度	35% ～ 80% RH （結露なきこと）

電源切（スタンバイ）時の消費電力：約 0.2 W

スピーカー部（SB-PM500）

形式	2 ウェイ 2 スピーカー システム（バスレフ型） ウーハー：10 cm コーン型 ツイーター：6 cm コーン型
インピーダンス	6 Ω
出力音圧レベル	80.5 dB/W（1 m）
再生周波数帯域	52 Hz ～ 31 kHz（–16 dB） 74 Hz ～ 27 kHz（–10 dB）
寸法（幅×高さ×奥行）	145 mm × 224 mm × 197 mm
質量	約 1.9 kg

注：
- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
- 全高調波ひずみ率は、スペクトラムアナライザーによる第 10 次高調波までの総和です。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ まず、お買い求め先へご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電　話	（　　　）　　－
お買い上げ日	年　月　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」「故障かな!?」（➜ 14 ～ 16 ページ）でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

● 製品名	CD ステレオシステム
● 品　番	SC-PM500
● 故障の状況	できるだけ具体的に

●**保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**
保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●**保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。**

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ **補修用性能部品の保有期間** 8 年
当社は、この CD ステレオシステムの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

■ **転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください**

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター

電 話　365日 受付9時～20時
フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

● 修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電 話
フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】
パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区		
青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区野田3丁目20番8号
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区		
香 川	☎(087)874-3110	高松市国分寺町国分359番地3
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。
http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0511

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/

携帯

※このサービスはWEB限定のサービスです。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック 総合お客様サポートサイト

http://panasonic.co.jp/cs/

● 修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理サービスサイト

http://club.panasonic.jp/repair/

インターネットでのご依頼も可能です。

パナソニック お客様ご相談センター

電話 365日 受付9時～20時

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの「87」と「130＃」を押してください。（番号を押しても案内が続く場合は、「＊」ボタンを押してから操作してください。）

■上記番号がご利用いただけない場合 **06-6907-1187**

■FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 **Osaka** (06) 6645-8787

Open : 9:00 - 17:30

(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック 修理ご相談窓口

電話

フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

• 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地域の「修理ご相談窓口」におかけください。

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

愛情点検　長年ご使用のCDステレオシステムの点検を！

こんな症状はありませんか	・煙が出たり、異常なにおいや音がする ・音声が出ないことがある ・内部に水や異物が入った ・本体に変形や破損した部分がある ・その他の異常や故障がある

ご使用中止	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワークシステム事業グループ
〒571－8504　大阪府門真市松生町1番15号